

関東のいづもさん通信 む す ひ



青々としたほおずき・朝顔が参道に整然と並ぶ中、この日だけは巫女達も袴ではなく浴衣を着てほおずき頒布をします。

ほおずき市・朝顔市開催

七月六日・八日の三日間、関東のいづもさん夏の風物詩でもある毎年恒例のほおずき市・朝顔市が本年も開催される。新暦に沿った夏のお盆行事。境内参道には五〇〇鉢以上の色鮮やかな赤や緑の実を携えた竹かご入りのほおずきが立ち並び、併せて瑞々しい花を咲かせる朝顔も夏の緑の景色を飾る。ほおずきの実には明々と灯りの燈った提灯飾りになぞらえて古くより祖霊をお迎えするお盆の花として重宝される。ご家庭のお盆の先祖供養にお供えすると良いとされる。炎天下の時期ではあるが、参道には竹で作った小屋に涼しげなほおずき・朝顔が数多く飾られ、丹沢マルシェ・フリーマーケット等のクラフト販売や、

炭焼き販売等も数多く出展する。また、当社の近隣の南秦野保育園の園児達による神話塗り絵の奉納展示や、さんさ踊り、おわら風の盆、八丈太鼓、創作和太鼓や居合演武などの伝統的な行事も境内にて披露される。多くの行事で賑々夏の晴れの緑日に、奮ってお越し頂きたい。

ほおずき
(大祓の縁起物付竹かご入り) 一五〇〇円
朝顔
(大祓の縁起物付竹かご入り) 一五〇〇円
切花ほおずき 一五〇〇円
※イベントは都合により急遽変更もございます。
(尚、新暦お盆七月十三日・十六日・旧暦月遅れお盆八月十三日・十六日ともに祖霊社にてお盆の先祖供養を受付しております)

『龍蛇神の社』特別拝観

出雲大社相模分祠「千年の杜」の守護神として、お祀りされる「龍蛇神様」は大地の神・水の神・金運・縁結びの御利益のあるダイコク様にお仕え神様。「千年の杜」では慶長十四年より湧水する「ゆずりの水」が溢れ、夏には蜚の飛び交う幻想的な鎮守の杜である。また、環境省指定の全国名水百選にも選定されるこの湧水を取りに多くのお水とりの人々で賑わう。ほおずき市・朝顔市期間中、参拝者には巫女より福引券の贈呈と併せてお神酒あるいはよく冷えた秦野名水の授与を

ほおずき市の期間中
お楽しみガラガラ抽選籤
を開催(はずれなし)!!
本誌持参で一人一回まで
参加できます。龍蛇神の
社をご参拝の方にも配布
しております。



無双直伝栄信流による迫力の居合演武。今年で4回目となり小田原居合会・富士裾野居合道教会・居合道相模会等による刀法・演武・太刀打之位などが奉納される。2回公演で内容も異なるので是非見に来てください。



また、ほおずき市・朝顔市の期間中には、普段は閉ざされている龍蛇神の社を開扉致しまして、神殿内に鎮座なされる龍蛇神様を直接拝む特別拝観が開催される。古くより、出雲地方では旧暦十月十日に全国の神々が参集し、縁結びの会議がなされるといわれる。私たちが十月を神無月と呼ぶ所以でもあり、出雲地方では神在月・お忌(おひきみさん)とも称し特別な信仰がある。出雲の地に全国の神々をご案内先導する神様が龍蛇神様である。縁結び・金運の御利益をもつ龍蛇神様にぜひこの機会にご参拝頂きたい。

平成30年6月号

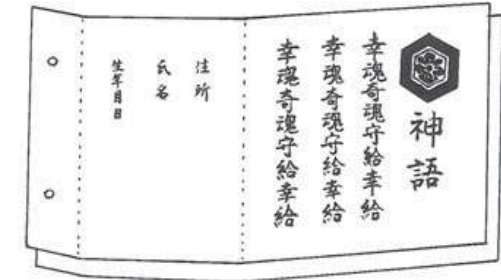
発行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
FAX:0463-82-1728
編集兼発行人
副長 草山和泉
季刊毎年2回発行
<http://www.izumosan.com/>

神語奉書奉納の御案内

神語奉書の奉納のご案内を申し上げます。(六月・八月・十月にかけて)皆様の願い事を込めて謹書して戴いた神語奉書は八月上旬の出雲大社教団大祭(島根県)において、大國主大神様の大御前にてご祈念し奉納致します。

「幸魂」によって分化繁殖した想いを、「奇魂」によって統一調和して一層発展させてゆく願いを指します。※一枚につき一〇〇〇円のお気持ちを納め頂いております。※授与品・神饌(するめ昆布)※社頭にてご対応しております。

「幸魂」とは、「花が咲く」「布を切り裂く」「物が割き分かれる」という言葉のよう、物が分裂し、増加繁殖して栄える力を意味します。「奇魂」とは、「櫛」「串」の言葉のように、「櫛で乱れた頭髮を解いて整える」「串刺しにして、それぞれ物を統一する」というように、統一し調和する力を意味します。



神饌講のご案内

皆さんの御崇敬の御志で平素より大神様へのお供え物を御用意しております。神饌講の加入金は一日五円ずつ出雲大社(島根県)並びに当分祠の日々の神事の神饌代として活用させて頂いております。

毎月一日には出雲大社神楽殿で加入者のお名前を奏上して家内安全をお祈りしています。講員証(期限一年)が授与され、出雲大社(島根県)に持参すると普段入ることの出来ない御本殿の門内拝礼にご案内して戴きます。

神饌講加入 二〇〇〇円
(五円×三六五日分)
一八二五円 + 送料
※お申し込みは出雲大社相模分祠授与所まで

ほおずき市イベント一覧

七月六日・龍蛇神の社祝祭(十五時)・七月七日・無双直伝英信流居合演武(十時半)・十一時半)・創作和太鼓奏(十一時)・十二時半)・八丈太鼓はなみずき奉納(十三時半)・大祓・茅の輪ぐり(十五時)・たかし&秀能二人のビッグショウ(十六時)・おわら風の盆(十七時)・七月八日・秦野市観光和太鼓(十時半)・花笠踊り大黒舞(十一時半)・シンガーソングライター香蓮コンサート(十二時半)・演歌歌手遠藤陽子(十三時半)・さんさ踊り(十四時半) フラダンス(十五時半)・七・八日(土・日)は丹沢マルシェ・フリーマーケットも多数出展予定

夏の行事のご案内

一、月次祭
毎月一日午前十三時三十分斎行
事前予約不要・無料
月始めにあたり一か月の国家安泰・地域の安全・家内安全・日々の暮らしの安全等を祈願する神事です。出雲神楽による巫女舞を奉納するこの月次祭にはどなたでもご参列頂く事ができます。月次祭に併せて縁結び・家内安全・交通安全・厄除け等各種ご祈願承ります。

一、祖霊社みたままつり
毎月第一日曜十五時斎行
事前予約不要・無料
分祠の祖霊社にて毎月行われる祖先の御霊を慰霊する合同の祖霊祭です。大國主大神様は幽世の世界を主宰する神様でもあります。御家のご先祖様のご冥福をお祈り申し上げます。※どなたでもご参列頂くことができます。

一、夏越の大祓
一、茅の輪ぐりの神事
六月二十四日(日) 午後三時
三十日(土) 午後六時
七月一日(日) 午後四時
七日(土) 午後三時

一、ほおずき市
境内参道にて
七月六日(金) 十時~十八時
七日(土) 十時~十八時
八日(日) 十時~十七時

一、風鈴まつり
ほおずき市より八月中旬頃境内に約五〇〇個の風鈴をかけ、縁結び厄除けを願う。
七月一日よりオリジナル短尺のついた風鈴や涼を呼ぶ参拝記念扇子も頒布します。

あなたの想いが、地球をつなぐいのちの森づくり2010

出雲大社相模分祠では

秦野市に呼びかけ二〇二〇年（平成三十二年）の東京オリンピック・パラリンピックに向け市民一人一本の植樹を目標に、十七万本のいのちの森づくりを提案しています。すでに秦野市では秦野盆地に平成元年より、照葉樹の森づくり事業を行い、平成二十年から現在まで秦野市植樹祭を毎年毎年行ってきました（参加人数：延べ九三三〇人、植樹本数：四万一千七本）

※第六十一回全国植樹祭を含む。出雲大社相模分祠では千年の杜づくりとして平成十九年六月三日に一七〇〇人の参加者が集まり、地球環境戦略研究機関・国際生態学センター長、宮脇昭先生の下、その土地本来の植生（地域の潜在自然植生として鎮守の森を形成する照葉樹林）であるタブ・シイ・カシ類を中心に一万二千本の植樹を実施しました。約十年が過ぎ、この千年の杜に植樹された苗木は、今では八、九mの高木となり、緑豊かな鎮守の森に生長しています。まさに時を経て「千年の杜」が形成されつつあります。こうした活動が評価され、平成二十二年には第六十一回全国植樹祭が南足柄市と秦野市の二会場で開催。南足柄会場では天皇陛下はケヤキ、スギ（無花粉）、クヌギの苗木を、皇后陛下はヤマザクラ、イロハモミジ、シラカシの苗木をお手植

えにられました。秦野会場では、天皇陛下はブナ、スダジイの種を、皇后陛下はコブシ、ヤブツバキの種をそれぞれお手播きになりました。（計十種類）また同年、第六十一回全国植樹祭を記念して大相模秦野場所を開催。相模協会初の試みとなる、場所中における力士らによる植樹祭を開催し、横綱をはじめ幕内力士らが秦野市中央運動公園に約千本の苗木を植樹しました。この植樹地は現在では「平和の森」として、市民の憩いの場となっています。この想いを継ぎ、平成三十二年には大相模秦野場所を開催し、植樹祭を行う予定です。

千年の杜をつくる会の活動

その後、この「千年の杜づくり」活動は、市内外の多くの人々の参加のもとに植樹活動が実施され、これまでに約七〇五〇人の協力を得、植樹樹木の総数は約六七九〇本となっています。

これまでの植樹活動の実績は、以下の通りです。

平成十九年六月三日	参加者 約一七〇〇人
植樹本数 約一万二千本	
平成二十年四月二十九日	参加者 約七百人
植樹本数 約六千本	
平成二十年五月二十九日	参加者 約百人
植樹本数 約七百本	
平成二十年六月八日	参加者 約五十人

植樹本数 約二千本	
平成二十一年四月二十九日	参加者約千人
植樹本数 約八千本	
平成二十二年四月二十四日	参加者 横綱白鵬他幕内力士
植樹本数 約千本	

平成二十二年四月二十九日	参加者 約三百人
植樹本数 約三千本	
平成二十三年五月二十二日	参加者 約三百人
植樹本数 約二千本	

平成二十四年七月二十九日	参加者 約三百人
植樹本数 約千二百本	
平成二十五年六月二十二日	参加者 約千人
植樹本数 約六千本	

平成二十五年十月四日	参加者 約八百人
植樹本数 約一万千本	
平成二十五年十二月四日	参加者 約三百人
植樹本数 約三千本	

平成二十六年二月二十二日	参加者 約五百人
植樹本数 約一万二千本	

こうして「千年の杜づくり」が着実に進み、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックが二年後に迫りつつあります。

オリパラで秦野盆地から鎮守の森を世界に

そこで私たちは、当初の植樹目標の達成に加え、世界各地から集まるオリンピック・パラリンピックの選手にも協力を仰ぎ、新たに「地球をつなぐいのちの森づくり二〇二〇」を提案するものです。この「地球をつなぐいのちの森づくり二〇二〇」は、東京オリンピック・パラリンピック参加選手を秦野に招待し、「千年の杜づくり」の植樹をしてもらい、帰国後は母国で同様に植樹活動を行っていた、各地の潜在自然植生により世界をつなぐ「緑の帯」を形成するものです。それは「千年の杜づくり」を「世界の杜」づくり発展させるもので、各国での植樹を通して地球の環境と平和を考えるものです。

私たちの願いー五つの価値を目指してー

「地球をつなぐいのちの森づくり二〇二〇」は、この活動の目標として、次の五つの願いを掲げます。

◆私たちの願いー五つの価値を目指してー

「地球をつなぐいのちの森づくり二〇二〇」は、この活動の方針として、次の五つの願いを掲げます。

その一：木立の芽吹きをあなたの価値に

大切に育てた苗木を、一人ひとりの想いを込めて植樹します。やがて木々は成長し、みどり豊かな森となります。あなたの手で植えたその足元の一本の木が、地球の大切な緑の環境を創り出します。そのためこの森づくりを通して、木立の芽吹きを私たちの大切な価値にして行きたいと思っています。

その二：共に創る発想を暮らしの価値に

人種、性別、年齢などによる差別や偏見のない社会のあり方が問われています。また障害の有無に拘らずその人が望む生活の実現が求められています。それには、誰もが共に生きる共生社会の実現が待たれます。そのためこの森づくりを通して、共に創る発想を暮らしの価値にしたいと思っています。

その三：受け継ぐ心を各地の価値に

人間による開発は時に自然環境の破壊をもたらしてきました。有史以来、開発による発展を遂げてきた人類にとって、環境保全は喫緊の課題となっています。ここにこれまでとこれからの地球環境を考え、世界各地で未来につながる環境継承への取り組みが待たれます。そのためこの森づくりを通して、受け継ぐ心を各地の価値にして行きたいと思っています。

その四：自然の恵みを未来の価値に

人類は人工環境としての都市を飛躍的に発展させてきました。自然環境は、こうした都市の発展の影響により荒廃が進んでいます。そのため改めて今、私たちは都市に暮らす責任を再確認し、自然環境を再生するための知恵が求められます。そのためこの森づくりを通して、自然の恵みを未来の価値にして行きたいと思っています。

その五：つながることを世界の価値に

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、世界からあらゆる国の人々が日本に集まります。それは国境を越え、人種や宗教の違いを越え、様々な出会いを生み出すことが期待されます。私たちはこうした人々に呼びかけ、この「（秦野）盆地で植樹し、帰国後は、各地で

めこの森づくりを通して、共に創る発想を暮らしの価値にして行きたいと思っています。

その三：受け継ぐ心を各地の価値に

人間による開発は時に自然環境の破壊をもたらしてきました。有史以来、開発による発展を遂げてきた人類にとって、環境保全は喫緊の課題となっています。ここにこれまでとこれからの地球環境を考え、世界各地で未来につながる環境継承への取り組みが待たれます。そのためこの森づくりを通して、受け継ぐ心を各地の価値にして行きたいと思っています。

その四：自然の恵みを未来の価値に

人類は人工環境としての都市を飛躍的に発展させてきました。自然環境は、こうした都市の発展の影響により荒廃が進んでいます。そのため改めて今、私たちは都市に暮らす責任を再確認し、自然環境を再生するための知恵が求められます。そのためこの森づくりを通して、自然の恵みを未来の価値にして行きたいと思っています。

その五：つながることを世界の価値に

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、世界からあらゆる国の人々が日本に集まります。それは国境を越え、人種や宗教の違いを越え、様々な出会いを生み出すことが期待されます。私たちはこうした人々に呼びかけ、この「（秦野）盆地で植樹し、帰国後は、各地で

植樹活動を展開することを目指します。それは、はだの（秦野）発の緑の帯を地球上に生み出します。そのためこの森づくりは、つながることを世界の価値にして行きたいと思っています。

【植樹プロジェクト二〇二〇実施に向けての提案】

この植栽いのちの森づくり二〇二〇は、以下の計画に基づき実施を予定します。

【その進め方】

千年の杜づくりは、平成十九年六月三日の「秦野千年の杜植樹祭」出雲大社相模分祠から始まり、これまで十三回に亘り、市民自らの手による「千年の杜」いのちの森づくりが秦野市内各地において行われてきました。その結果、植樹樹木の総数は約六七九〇〇本、参加者は約七〇五〇人となっています。

今回のいのちの森づくり二〇二〇では、これらの植樹活動を受け継ぎ、植樹樹木の目標総数を十七万本とし、二〇一七年秋より本格的な取り組みを始めます。また植樹に当たっては、これまで同様、市民の参加を前提とし、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック開催時には、多くの選手を秦野に招待し植樹を実施してもらいます。これら参加選手には、帰国後、母国で潜在自然植生による「千年の杜」いのちの森づくりへの取り組みを依頼します。こうして秦野で「千年の杜」いのちの森づくり

を体験し、その経験を母国で植樹活動に活かすことにより、地球の環境と平和を考えながら世界をつなぐ緑の帯の形成を目指します。

なお秦野市内での植樹場所として、新東名高速道路整備に関連し、新インター周辺での植栽活動を予定します。その他にも学校施設や寺社の境内、休耕地などの活用を予定します。

【連絡先・事務局】

オリパラで秦野盆地から鎮守の森を世界に 十七万本植樹

発案者 草山清和



⑨歴代分祠長（宮司）の記念碑

草山貞胤翁【文政 6 年（1823 年）～明治 26 年（1895 年）】煙草作りの祖とも仰がれ「神奈川県の 100 人」にも選定される。ほか草山文之助・草山智義・草山貞胤（昭和）。

⑤祖霊社（それいしゃ）

大国主大神様は幽冥（死後の世界）を主宰する幽冥主宰大神とも称えられ祖霊社の御祭神として祀られている。その御神格に基づき、当分祠では信徒会が組織され、各家のご先祖様を崇敬し先祖供養をお仕えする御社殿でもある。

⑦龍蛇神の社（りゅうじゃしんのやしろ）

⑥千年の杜（せんねんのもり）

平成 19 年、「ふるさとの木によるふるさとの森」を作ろうと横浜国立大学宮脇昭名誉教授の指導のもと植樹祭が斎行され、照葉樹を中心に約 12,000 本 60 種の日本古来の樹木が混植・密植されています。森の中には湧水があり、メダカやドジョウ・ホタル等が生育しています。全国名水百選にも選定され、平成 27 年に環境省が行った、～名水百選 30 周年記念～「名水百選」選抜総選挙の「おいさがすばらしい名水部門」で全国 1 位にもなった秦野盆地湧水群のひとつでもあり、当社の「ゆずりの水」は多くの参拝者がお水取りに訪れる憩いの場となっております。（飲料可・保健所の調査を実施済）

⑪御嶽神社（みたけじんじゃ）

通称 御嶽さん（おみたけさん）御祭神として日本武命（やまとたけるのみこと）・大己貴命（おおなむちのみこと）・少彦名命（すくなひこなのみこと）・櫛真智命（くしまちのみこと）をお祀りする。創立年歴は不詳であるが、建久三年（1192 年）頃より神社前の参道を御嶽道と称し、平沢村の鎮守神として記録されている。慶長 13 年（1602 年）踊宮鈴張の地に将軍徳川家康公が鷹狩りに来た際に、当社に参拝、社殿の改修を命じ、翌年に極彩色の彫刻を備えた桧皮葺きの御本殿を改修した。昭和 51 年に本殿を覆う形で木造銅板葺の御社殿を修造し、現在の形となった。奥に鎮座する本殿は慶長年間に改修された当時の姿である。境内には、神輿蔵・金毘羅宮・神楽殿・石碑等、数多く祀られている。大正 12 年、神木が倒木したが、年輪が 980 もあった。

⑫八坂神社（やさかじんじゃ）

御祭神として須佐之男命（すさのおのみこと）・大国主命（おおくにぬしのみこと）をお祀りする。八坂神社の創立年月日は不詳であるが、400 年前より当地にあり境内の樺の大木は約 1,000 年を数える古木である。当社の社殿は昭和 42 年、御嶽神社新築の際、古い社を移築したもので、昭和 60 年、屋根は銅板葺きとした。疫病よけの御利益をもつとされる。

⑬御神木 大ケヤキ

御嶽神社の境内には秦野市文化財指定木である樹齢 500 年余りの御神木の大ケヤキが 2 本あります。今は取り除かれたが、ケヤキの腰の位置には大きなコブが生えており日照りの際、御神木のコブを引っ張ると伊勢原の大山阿夫利神社より恵の雨が降るとの伝承がある。

①出雲大社相模分祠 本殿並びに拝殿

出雲大社の御祭神大国主大神様をお祀りする。島根県出雲大社より正式に御分霊を賜った出雲大社教の分祠。明治 21 年（1888 年）に、島根県御鎮座の「出雲大社」第 80 代国造・千家尊福公に請願して、当地累代の神職であり、報徳家であった草山貞胤翁が、出雲の大神の御分霊をこの地に鎮祭申し上げ、大国主大神の御神徳を関東地方に広めるための要処としたのが創まりとされる。そのほか代々お仕える近隣秦野市・伊勢原市・平塚市に鎮座する兼務神社 23 社 28 柱の御祭神を合祀している。大社造りと権現造りを組み合わせた独自の木造社殿の様式で翼幣殿と呼ばれる長い幣殿が特徴的。拝殿に於いてはお宮参り・家内安全・縁結び・厄除け・交通安全など各種御祈願を斎行する。

⑩三社天神社（てんじんじゃ）

◇天神社……少名毘古那神（すくなひこなのかみ）・神産巢日神（かみむすびのかみ）◇筑紫社（つくしのやしろ）……多紀理比売命（たぎりひめのみこと）・田寸津比売命（たぎつひめのみこと）・市杵島比売命（いちきしまひめのみこと）◇祓社（はらえのやしろ）……瀬織津比咩神（せおりつひめのかみ）・速開都比咩神（はやあきつひめのかみ）・気吹戸主神（いぶきどぬしのかみ）・速佐須良比咩神（はやさすらひめのかみ）

②手水舎（てみずしゃ）

神様の聖域に入るため心身をお清めする場所。手と口をゆすいでからお参りするのが作法。

④出雲記念館

結婚式・披露宴・結納・七五三・成人式・お宮参り・着付け・記念写真・会食など承っています。また、神輿や縁の品々の展示見学やご参拝の休憩所としてもご利用できます。館内では八雲庵で奉製したオリジナル和菓子の販売もしています。電話：0463-84-1122 FAX：0463-83-5049 営業時間：9 時～17 時 駐車場有（年中無休）

⑭和菓子 八雲庵

当分祠の直営の和菓子店。名物むすび大福をはじめ、出雲の和菓子や地元特産の桜を使った和菓子を取り揃えている。営業時間 9：30～15：00（水曜定休）電話 0463-84-3284

⑯やぶつばきの古木

平成 22 年 5 月、県立秦野戸川公園で斎行された第 61 回全国植樹祭の式典行事で、皇后陛下は当社のやぶつばきより採取した種をお手播きになった。江戸時代より生育している原木で樹高も高く大変珍しい樺の古木である。

⑮社の豆腐工房三河屋

日本名水 100 撰「秦野盆地湧水群」の湧水「秦野名水」を使用し、厳選された国産大豆と再加熱しない昔ながらの製法にこだわり、熟練した職人が毎日心をこめて丁寧に手造りしている。

（出張販売所）

⑧南はだの村七福神と鶴亀めぐり

かつての南秦野村を通る寺社仏閣を巡りつつ、地元の人々とともに福を磨き、福を集め、古きよき南秦野村の伝統を語り継いで行きたいという思いから始められた七福神めぐりです。七福神と鶴亀スポットを巡り、10 個全ての御朱印を集めると完歩賞がもらえます。千年の杜の入口に「だいこく様」、御嶽神社に「えびす様」が鎮座しております。

③桜・そめいよしの

4 月には満開の桜が花咲き、参拝者の心を楽しませる。東日本大震災復興を祈願した大花見会などが催されます。また、参加費は全て復興支援金として宮城県名取市関上地区湊神社に寄付され、震災以降欠かさず支援しています。



平成 30 年春、秦野在住旅の絵師「しろひげ」こと、カドワキ・ノブオ先生に上空から俯瞰した境内図の作成を依頼した。しろひげ先生は平素よりスケッチ教室を開き、住まいのある神奈川県秦野市で市観光協会と共に地元をはじめ近隣のスケッチ好きの生徒さんたちと実際に観光コースをハイキングしながらスケッチを学ぶツアーの講習などを行っている。全体図の作成は当社として初めての試みでもある。この夏、全体の分かる案内図として境内に大型看板を設置する予定。
〔製版した鳥瞰図を授与所にて 500 円で配布〕

夏越の大祓ご案内

茅の輪くぐりの神事

六月の晦日、恒例の夏越の大祓（おおはらえ）並びに茅の輪くぐりの神事を斎行致しますのでご案内申し上げますようご案内申し上げます。

斎行日
六月二十四日（日）
午後三時
三十日（土）
午後六時

七月
一日（日）
午後四時
七日（土）
午後三時

どなたでもご自由に参加できます。ご家族の皆様でぜひご参加下さい。

玉串料 三〇〇〇円
（二世帯）
授与品 茅の輪飾り
御神菓

古来我々の先祖は、半年毎に「大祓」によって心身を清浄にし、新しい年の幸せを祈願しました。この祭儀に先立ち「人形・車形」をお届け致しますのでご家族のお身体・お車をお清めになった後、同封の返信用封筒にてご返送いただくか、大祭当日にご持参下さい。新しい一年の「幸せ」のご縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。

出雲大社相模分祠長
草山 清和

夏越の大祓とは

大祓神事の歴史は古く、もともと古い神道儀礼の一つでもあります。大祓神事の際に奏上される大祓詞（中臣祓）は平安時代の法律書『延喜式』巻八「祝詞」（九二七年）に記載され、古代豪族の中臣氏が司る宮中行事でもありました。人が生きる上で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを取り除き、災厄を避け心身を清らかにすることを目的とした神事です。毎年六月の晦日、十二月の晦日の年二回行い、半年ごとの罪穢れをお祓いします。わけても、江戸時代以降はこの六月の夏越の大祓には茅の輪くぐりの神事が斎行され、江戸の庶民に広まったとされ、日本中の神社で斎行される伝統行事となりました。当分祠でも毎年欠かさず斎行する恒例行事であり、大きな茅の輪を製作しております。初夏に奉仕会の有志が秦野盆地の山に赴き茅を切り出し、それをシュロ紐で結びつけ人がくぐれるほどの大きな茅の輪を作成します。これが大変難しく、茅の具合や締め付けの強さなど細心の注意を払う必要があります。均一な太さに編み込むには熟練の手法が必要とされます。



茅の輪くぐりの作法

大祓神事の際、茅の輪をくぐるには、必ず左右各三周廻り、古式豊かな抑揚で和歌を唱えることが作法とされます。

「みな月の夏越の祓する人はちとせの命のふといふなり」
一周目

「思ふ事みなつきねとて麻の葉をきりにきりても被ひつるかな」
二周目

「宮川の清き流れに襟せば祈れる事の叶はねはなし」
三周目

夏越の大祓神事には例年百人以上もの参詣者で賑い、和歌を歌いながら行列を組んで三周廻ります。茅の輪くぐりの神事を終えると、社殿に昇殿し改めて大祓詞を神職の先導の下、参拝者全員で唱和します。初めての人でも一度練習してから皆様で合唱頂くので安心して参加頂けます。年々参加者も増え、日数回数を増やして大祓の神事に取り組んでおりますが、多いときには社殿に入りきれないほどの盛況ぶりです。当日参加の方は早めに受付をお済ませ下さいませ。

【参列できない方】
ご参列できない方は事前にお預かりすることが出来ます。

人形・車形・玉串料の三万円を封筒に入れてご持参或いはご郵送下さい。また、最寄りの郵便局からでもお振込み頂けます。後日、授与品をご送付致します。

なんで茅の輪をくぐるの？

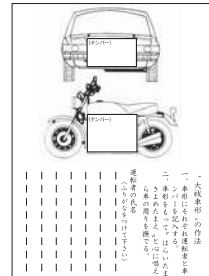
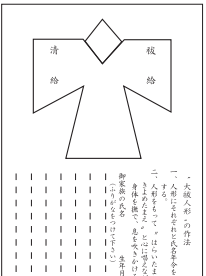
その答えは出雲神話（備後国風土記）に伝えられております。ヤマタノオロチを倒した素戔鳴尊（スサノオノミコト）が、旅をしている途中、蘇民将来（ソミンシヨウライ）と出会い、巨旦将来（コタンシヨウライ）という兄弟のところで宿を求めたところ、弟の巨旦将来は裕福であつたにも関わらず宿泊を拒んだのに対し、兄の蘇民将来は貧しいながらも喜んで厚く饗しました。その数年後、再び蘇民将来のもとを訪ねた素戔鳴尊は「もし悪い病気が流行ることがあつた時には、茅で輪を作り腰につければ病気がかららない」と教えられました。そして疫病が流行したとき巨旦将来の家族は病に倒れましたが、蘇民将来の家族は茅の輪で助かったというのです。

この言い伝えから「蘇民将来」と書いた紙を門に貼るといふ信仰が生まれ、茅の輪も当初は伝説のとおり小さなものを腰に付けるといふものでしたが、江戸時代初期になり、大きな茅の輪をくぐって罪や災いを取り除くという神事になったと言われているのです。



人形・車形の使い方

人形（ひとがた）とは古くより祓や祓をする時に人間の身代わりとして用いてきました。撫物（なでもの）ともいい厄を移した後、川などに流していました。



郵便局からお振込み方法の案内

《お振込み票の書き方》
①お振込み分の金額（玉串料）を「払込取扱票①」及び「払込票兼受領証②」の金額の欄にご記入下さい。

②「払込人住所氏名③」欄には郵便番号・住所・氏名をはっきりと楷書でご記入下さい。（授与品が発送先になります。）

尚、金額は一例であり、祈願の内容に応じて、お気持ちでお納め下さい。払込票宛先
口座記号 口座番号
00220・7・37940
加入者名
宗教法人 出雲大社相模分祠

※郵便局に口座がなくても、ご利用頂けます。（手数料神社負担）

《払込取扱票の使い方》

払込取扱票と送金額の料金を添えて、郵便局にある払込機能付きATMか、郵便局の貯金窓口にてお支払いが出来ます。■ゆうちょATMでの通常払込の操作手順

- 画面の「送金」を押す。
- 画面の「払込書でのご送金」を押す。
- 払込書を挿入する（通帳入口の上）
- ご依頼人の確認
- 振込先口座番号の確認
- 金額の確認
- お支払方法の確認（現金を押す。）
- 現金（紙幣と硬貨）の投入
- お釣りと控えを取る

※払込票紛失の際は郵便局の窓口にご致します。

※玉串料お振込み記入例※

払込取扱票		通常払込料金加入者負担	
口座記号	口座番号	金額	備考
002207	37940	3000	
宗教法人 出雲大社相模分祠			
夏越大祓玉串料 3,000 円より（お気持ちでお納め下さい。）			
※お振込み確認後の授与品発送になりますのでご了承下さいませ。			
※おところ・おなまえは楷書で分かりやすくご記入下さいませ。			
払込人		日付	印
（ご連絡先電話番号）			
（ゆうちょ銀行）			
（ゆうちょ銀行）			

① 玉串料をご記入下さい
振替払込請求書兼受領証
口座記号 002207
口座番号 37940
加入者名 宗教法人 出雲大社相模分祠
金額 3000
備考

② おところ・おなまえをはっきりとご記入下さい
③ おなまえをはっきりとご記入下さい